

備前市事務事業評価シート

事業の概要			
事業開始年度	S46年～		
総合計画	大項目	基本目標	04 もてなしの心とたくましさのあるまちづくり
	中項目	基本施策	02 起業と創造を支えるまちづくり
	小項目	施策	02 商業
事務事業名	02 地域振興活性化事業		
根拠法令・規程等	備前市補助金等交付規則		
担当課(室)	商工観光課		
職・氏名	商工労政係長 貞友武典		
電話	0869-64-1832		
このシート作成に要した時間	4.0 時間		

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	商業者、商工団体
目的(何のために)	地域活性化につながるイベントを実施、支援することにより市外観光客の増員、地元商店街の売上増を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	地元商業、水産物のPRを各種イベントを通じて行い、地域活性化につなげる。

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
備前まつり事業	備前まつり実行委員会に対し、地域の活性化を目的として、備前まつりに要する経費の一部(2,100,000円)を補助する。		
ひなせ港祭り事業	ひなせ港祭り実行委員会に対し、地域の活性化を目的として、ひなせ港祭りに要する経費の一部(2,100,000円)を補助する。		
サマーフェスティバル事業	サマーフェスティバル実行委員会に対し、地域の活性化を目的として、サマーフェスティバルに要する経費の一部(700,000円)を補助する。		
地域まつり補助事業	備前東商工会に対し、地域の活性化を目的として、三石夏祭りに要する経費の一部(252,000円)を補助する。		
ソーファクタジーイルミネーション業務	毎年12月中旬～2月上旬にかけて、観光PRのため日駅前周辺で実施したイルミネーションの取り付けに従事した人件費及び光熱水費(46,517円)		
ぼんぼり取付業務	3月25日から4月15日にかけて、観光PRのため橋越山や上山公園で実施したぼんぼり取り付けに従事した人件費及び光熱水費(8,138円)		

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
決算額	直接事業費		6,567	5,335	5,206	
	必要人員(人件費)	千円	0.99人	7,336	0.94人	7,158
	事業費		13,903	12,493	11,207	
	国県支出金					
	受益者負担					
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源		13,903	12,493	11,207		
受益者負担比率	%	-	-	-		
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績	
結果指標	イベント来場者数	説明	開催イベント来場者数の合計			
	結果指標量	人	118,242	106,839	84,300	
	対前年比	%	90.4%	78.9%		
	活動コスト	円	13,903,000	12,493,000	11,207,000	
単位当たりコスト		118	117	133		

(平成22年度事業)

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
開催イベントにおける来場者数の合計	目標値(A)	124,000	124,000	74,000	74,000
	実績値(B)	118,242	106,839	84,300	到達目標値
	達成率(B/A)	95.36%	86.16%	113.92%	毎年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
継続開催イベント其々の来場者数のアップ					

事務事業の評価		5段階評価(A～E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A～E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input checked="" type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	C
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A～E> C
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 <A～E> C
有効性の評価	目的達成度		
	市民参画度		

事業の目的やその数値目標から有効性を評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	合併前、それぞれの市町で実施されていた夏祭りを継続してきた。そろそろ統合してはどうかとの意見もあるが、統合というのは名目であり、どちらかの大会を中止することにほかならない。22年度の各まつりの実行委員会反省会においても苦しい内情を訴える声も上がったが、少数意見のため否決されてしまった。そのため23年度は、補助金を現状維持としている。					

総合評価		5段階評価(A～E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
備前まつり等地域活性化につながるイベントの協働実施及び財政支援をすることにより、市外観光客の増員を図っている。今後は、コスト削減を徹底し、費用対効果も勘案しながら、効率のよい事業実施を目指さなければならない。	評価区分 <A～E>	C

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	各地域の活性化を理念に取り組んでいる実行委員等にイベントの廃止を打ち出すことは愚の骨頂である。運営に携わる市民が、やる気、元気、本気で取り組んでいる以上、予算の範囲内で支援し、協働で市の活性化に取り組んでいきたい。					